

2021年4月7日

鳥取市長 深澤 義彦 様

日本共産党鳥取市議団
伊藤 幾子
岩永 安子
萩野 正己
金田 靖典

新型コロナウイルスの感染急拡大への対応についての申し入れ

鳥取市内で、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、まさに第4波です。対応に全力を注いでいただいていることに、敬意を申し上げます。

今回の第4波は、市長が定例記者会見で述べられたように、感染力がこれまで以上に強いことと同時に、無症状病原体保有者が一定数あること、変異株があること、感染経路がつかめない方があること、こうした特徴があります。この特徴に合わせた対応策が必要と考えます。

また、感染が広がることによって、地域経済に及ぼす影響への対策も重ねて行うことが必要と考えます。

以上のことから、下記の点について、ぜひ、取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

【要望事項】

1. 医療・検査体制の充実について

- ① クラスタ対策としての積極的疫学調査に加え、濃厚接触者または接触者でなくても不安を感じている方に広く PCR 検査などを呼びかけ、無料で検査が受けられるようにすること。
- ② 感染すると重症化・クラスター化する懸念がある、医療機関・社会福祉施設での定期的（1週間程度の間隔で）な社会的な PCR 検査等を実施すること。
- ③ 新入学で往来がある大学生等を対象に、大学機関とも連携して、大学内に PCR 検査センターの設置など、学生が気軽に検査が受けられる体制を整備し、費用補填すること。
- ④ 医療機関は、新型コロナ患者の受け入れの有無を問わず、赤字を抱えながら、新型コロナ対応とワクチン接種の両方の対応に迫られている。県に対し、医療機関に応援金や慰労金の支給を求めること。

2. 地域経済を支える支援について

- ① この間、様々な支援策が図られてきたが、その対象から外れる事業者が少なくない。なるべく多くの事業者が対象となるような支援策を講じること。
- ② 1年以上にわたるコロナ禍で、事業継続に頑張っている事業所に、応援金を支給し、激励すること。

以上